

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

私たちは、子ども達を守り育てます。

不祥事根絶のための行動計画

福山市立明王台小学校
作成責任者 校長 森谷 誠

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○計画的に服務研修を実施しているが、お互いに声を掛けあう場面が少ない。	○「自分にもある」という当事者意識を持ち、規範意識を高め合う言葉が職場に聞こえるようにする。	○身近な事案や日常のヒヤリハットを研修に取り上げ、改善のための行動を具体的に考え、掲示して行動を変える。 ○「ヒヤリハット一覧」を集積し、研修の度に加除訂正する。	○ヒヤリハット一覧をチェックし、自分の行動を振り返る（学期に1回） ○「チェックリスト」を学期に一回行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○不祥事防止は組織で取り組むという意識が低い。	○不祥事防止は、組織で取り組むために、教職員同士で「声を出す」「行動を起こす」ことを実行できるようにする。	○不祥事防止委員会にメンバーだけでなく、全員が順に参加し、会議を体験する。 ○月に1回、一斉行動日（整理整頓の日等）を設け、行動確認をする。	○不祥事防止委員会で、研修の振り返りやチェックリストで確認する。 ○月に1回の一斉行動日に行動点検をする。
相談体制の充実	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の利用が少ない。 ○教職員同士で仕事の悩み等話す時間が少ない。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」を積極的に知らせ、相談しやすい体制をつくる。 ○業務改善し、時間的なゆとりをつくる。	○相談窓口や相談日を担任が児童に積極的に紹介し、相談しやすい体制をつくる。 ○学校だよりで具体的な相談の事例を保護者に提示し、相談しやすい窓口であることを周知する。 ○週2日朝会・夕会のない日を設定する。	○学期末に児童、保護者を対象にアンケートを実施する。 ○学校衛生委員会を年6回以上実施する。